

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業実施・検証(R4)

単独・広域			No.	交付対象事業の名称	事業の概要	予算執行状況		重要業績評価指標(KPI) ※県広域連携事業については、県のKPI				事業効果	事業評価の理由・今後の方針等	大洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の評価・意見
区分	事業代表	連携市町				支出済額	交付金充当額	評価指標	単位	目標値 (単年度)	実績値 (単年度)			
広域 (連携)	愛媛県	県内20市町	1	稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業	国体後の県民のスポーツへの意識の高まりや東京オリンピック開催を契機としてとらえ、スポーツや文化を切り口とした稼ぐ力の創出による地域活性化に取り組む。 1. 愛・野球博実行委員会 NPBオールスターゲーム開催に向けた県内全域での機運醸成、競技団体等と連携した大規模野球イベントの開催や普及活動に係る経費(負担金) 2. 愛媛国際映画祭実行委員会 映画を通じた映像文化の振興や担い手の育成、及び映画と県内観光資源を組み合わせたイベントの開催等に係る経費(負担金)	1,800,000	900,000	①社会減の縮小	人	-997 (+500)	-3,397 (-875)	3(効果が あった)	1. 愛・野球博実行委員会 愛媛マンダリンパイレーツの現役選手と地元少年野球チームによる、「伊予灘ものがたり歓迎旗振りイベント」を開催し、現役プロ選手との交流を通して、野球の魅力を感じることで、子供たちの野球や郷土への関心を向上させることができた。 2. 愛媛国際映画祭実行委員会 アニメーション作品の上映だけでなく、アフレコ体験やアニメーション監督や声優のトークセッションの開催により、映像文化を体験できる機会の提供が図れたほか、担い手となる子供たちの興味・関心の向上に寄与することができた。	特になし。
								②県外からの移住者数	人	3,351 (+1,000)	7,162 (+2,252)			
								③観光入込客数	千人	28,993 (+410)	20,108 (+3,755)			
								④観光客消費額	億円	1,249.20 (+25.20)	991.00 (+152.00)			
広域 (連携)	愛媛県	南予9市町	2	つながるきずな、ひろがるいやし、愛媛県南予から発信する「愛媛シフト!!」 1. 南予地域振興イベントの開催 南予地域において、豪雨災害からの復興の進展を契機に、観光需要の起爆剤とするため、県、地域9市町、国(国土交通省)、DMO、地域経済団体等が連携し、人口減少や2次交通対策など地域課題の解決や持続的な交流拡大の視点も取り入れた誘客事業の実施 2. 「いやしの南予」ブランドの価値向上 県、地域9市町、DMO、地域経済団体、住民グループ等が連携し、食との連携による観光キャンペーンや、宿泊と体験プログラムを組み合わせた旅行商品の宿泊予約サイト等による情報発信	16,929,982	8,464,991	①本事業を通じた南予地域(4市5町)の観光客数の増加	千人	+133.00 (+100.00)	+731.00 (+852.00)	2(相当程度効果が あった)	南予地域全市町と連携して開催することにより、地域課題の解決や持続的な交流拡大の視点も取り入れた誘客事業の展開につなげている。 移住や地域づくりに造詣の深い人材を登用することにより、市町の施策ブラッシュアップにつながり、地域全体の移住力の底上げが図られている。 南予地域への移住者数及び移住相談件数の増加もみられている。	特になし。	
							②本事業を通じた南予地域(4市5町)への県外からの移住者数の増加	人	+610 (+330)	+566 (+226)				
							③南予地域に対する移住相談件数	件	891 (+125)	1,389 (+605)				
広域 (連携)	愛媛県	県内20市町	3	デジタル人材不足の原因解消や産業DXの推進を図り、本県の稼ぐ力を強化するために、デジタル人材の教育・育成・誘致やデジタル人材を活用した県内産業のDXの推進・IT企業の誘致強化を行う。 デジタルデバйд対策事業 1. DXを支えるデジタル人材の教育・育成 (1) デジタルデバйд解消に向けたリテラシー向上の取り組み ・県とともに、地域事業者等と連携したサポートネットワーク体制の構築・運営 ・住民や地域コミュニティのデジタルシフト進展に係る負担金 2. 高度IT人材の誘致・活用 市町ニーズに即した柔軟な人材活用サポート体制の構築・運営及びコーディネーター(5分野5名)の配置に係る負担金	3,513,100	1,756,550	①本事業を通じたデジタル人材の教育・育成・誘致者数	人	1,500 (+1,500)	1,136 (+1,136)	3(効果が あった)	高度人材シェアリングやデジタルデバйд対策については、愛媛県と県内全市町が参画する愛媛県・市町DX推進会議を定期的に開催するとともに、DX担当者によるワーキンググループ会議を必要に応じ開催し、協働事業の進捗確認や課題、改善点などを協議している。また、支援対象者の選定にあたり、専門知識を有する学識経験者や民間企業経営者などの外部人材を活用し、支援対象者の審査を実施し、効果の高い案件を支援対象とすることにより、より効果的なデジタル人材の教育・育成やデジタル人材を活用したDXの推進に繋がった。	特になし。	
							②本事業を通じたデジタル人材の移住者数	人	30 (+30)	14 (+14)				

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業実施・検証(R4)

単独・広域			No.	交付対象事業の名称	事業の概要	予算執行状況		重要業績評価指標(KPI) ※県広域連携事業については、県のKPI				事業効果	事業評価の理由・今後の方針等	大洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の評価・意見
区分	事業代表	連携市町				支出済額	交付金充当額	評価指標	単位	目標値 (単年度)	実績値 (単年度)			
広域 (連携)	愛媛県	八幡浜市 大洲市 砥部町	4	食べてみとん愛顔になるけん！ニューノーマルに対応した愛媛の農林水産物のブランド化・販売促進事業	大洲ええモンセレクションをはじめとする特産品やご当地グルメ、郷土料理等の認知度向上、消費拡大や販路開拓等を実施し、地域経済の活性化に取り組む。 1 新たな生活様式に対応したブランド強化事業 (1)認定審査会運営費 (2)ネット販売等販路開拓費 (3)ECサイト等活用戦略委託料 2 芋煮等郷土料理国内外発信事業 (1)新生活様式対応型認知度向上事業 (2)3市町芋煮連絡協議会負担金	14,365,032	7,182,516	①本事業の取組みを通じた県関与年間成約額(農林水産物)	億円	131.4 (+19.0)	123.1 (+7.5)	3(効果があつた)	イベント等を開催するなど、効果的に情報発信を行った。一時的な効果があるが、継続的に発信していくことが難しい。	特になし。
								②本事業の取組みを通じた県関与年間成約件数	件	1,812 (+247)	1,314 (+70)			
								③「愛」あるブランド製品の年間販売額	億円	181.4 (+3.5)	189.1 (-5.1)			
広域 (代表)	大洲市	内子町	5	町家・古民家等の歴史的資源を活用した観光産業の確立推進事業	歴史文化等の地域資源を保全し観光まちづくりに活用する。地域内に新たな経済需要と雇用を生み出し、まちづくりに重点を置いた持続的な地域経済循環を構築していく。 1. 大洲市観光まちづくり戦略推進事業 (1)プロモーション実施費用 (2)観光施設音声案内システム作成 (3)戦略会議運営及び専門家招聘費用 2. 内子・大洲エリア観光推進プロジェクト事業 (1)協議会運営及び専門家招聘費用 (2)観光コンテンツモデル化事業費用 3. 町家・古民家等の歴史的建造物の改修補助 (1)村上(長)邸別邸 改修補助金	24,688,281	12,344,140	①訪日外国人旅行者の宿泊者数	人	3,000 (+1,000)	158 (+111)	2(相当程度効果があつた)	町家・古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくりを推進するため、「収益性の高い強力なプレイヤー候補」、「改修を含めエリアマネジメントに実績のある企業」、「資金提供で創業者を支援する地方銀行」と連携協定を締結した。コロナ禍による入国制限等の影響によりKPI①については目標値を大きく下回ることとなったが、KPI②については事業化が順調に進み、一定の新規雇用者が確保できた。KPI③については積極的に観光コンテンツの造成に努めた。	観光客の消費拡大を促進するため、土産物や飲食店の充実の推進、若者を中心とした起業支援等について意見あり。評価については特になし。
								②地域経済牽引事業に伴う新規雇用者数	人	24 (+8)	106 (+39)			
								③ビジネス化が成功した観光コンテンツ数	件	5 (+2)	15 (+5)			